

公益財団法人さんりく基金
令和 7 年度第 1 回理事会 議事録

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 令和 7 年 5 月 27 日 (火) 午後 2 時 00 分から午後 2 時 35 分
(2) 場所 岩手県盛岡市内丸 13 番 1 号 トーサイクラシックホール岩手
第 1 会議室

2 役員の現在数 理事 10 名 監事 2 名

3 出席者

(1) 理事

代 表 理 事	佐々木 淳	業務執行理事	熱海 淑子
業務執行理事	中嶋 英俊	理 事	青山 潤
理 事	天野 勝文	理 事	石川 義晃
理 事	佐々木 安彦	理 事	佐藤 保
理 事	田中 宣廣		

(2) 監事

監 事	及川 崇
-----	------

(3) 事務局

事 務 局 長	熱海 淑子	三陸DMOセンター長	中嶋 英俊
企画総務部長	森 英介	企画総務部副部長	立柳 敦
企画総務部副部長	戸塚 教仁	事 務 局 員	田村 優子
事 務 局 員	川村 泉	事 務 局 員	川崎 佳子
事 務 局 員	野村 祐介		

4 欠席者

理 事	宗形 金吉	監 事	立花 徹
-----	-------	-----	------

5 議 長

代表理事 佐々木 淳

6 決議事項

- 第 1 号議案 令和 6 年度事業報告及び附属明細書の承認について
第 2 号議案 令和 6 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について
第 3 号議案 令和 7 年度第 1 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について

7 議事の経過

午後 2 時 00 分開会した。

熱海業務執行理事が、理事現在数 10 名中出席 9 名により定款第 37 条に定める定足数を満たしており、本理事会は成立した旨を告げた。また、理事会運営規則第 13 条の規定により、監事に理事会に出席頂き、意見を頂くこととなっているとの説明があった。その後、佐々木代表理事から挨拶があった。

続いて、定款第 39 条第 2 項により、議事録署名人は佐々木代表理事、及川監事であることを確認し、以降の進行は、定款第 36 条の規定により、佐々木代表理事が行うこととなった。

報告事項 1 「職務執行の状況について」

代表理事及び業務執行理事が職務執行状況を報告した。

議長が報告について質問、意見を求めたが、発言はなく、直ちに議案の審議に入った。

第 1 号議案「令和 6 年度事業報告及び附属明細書の承認について」

第 2 号議案「令和 6 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について」

議長は第 1 号議案と第 2 号議案について関連があるとし、事務局に一括して説明を求め、森企画総務部長が説明した。引き続き、監査報告について及川監事が報告した。

議長が、第 1 号議案、第 2 号議案について一括して質問、意見を求めた。

【石川理事】

事業報告に記載の三陸観光プランナー養成塾について、現在三陸観光プランナーは何名か。プランナーの名前などが、ホームページをみればわかるようになっているのか。

【中嶋業務執行理事】

三陸観光プランナーは、今まで受講した方の名簿を単純に累計すると 100 名。複数回、受講している方もいるため、延べ人数はもっと多い。期間が長くなっているため、既に三陸地域を離れた方もいるので、実際に何名かというのは正確には把握できていない。三陸観光プランナーの名簿は特段ホームページ等には掲載していない。

【石川理事】

三陸観光プランナーは、観光系の知見をたくさん持っていらっしゃる方だと思うので、地域の事業者が相談する相手としては非常に最適だと思う。そういう方がどこにいるのか把握できるようになればいい。

【中嶋業務執行理事】

三陸観光プランナーの活用については、検討していきたい。

【青山理事】

三陸観光商談会や三陸観光フォーラムの成果は。

【中嶋業務執行理事】

商談会については、なかなかその場ですぐやりますということにはならない。来年、再来年の旅行商品に向けて取り込んでいく形であり、具体的な件数までは抑えていない。今、岩手県内でオーソドックスなスタイルの商談会が減っているので、参加者の方からは、貴重な機会だったというお声をいただいている。観光フォーラムについては、関係者が情報共有を図る場にもなっている。いずれ、具体的な成果につなげていきたい。

【佐々木代表理事】

9～11 ページに助成事業の一覧が掲載されているが、取組内容や成果は機関誌「三陸総合研究」で発行しているわけだが、より他の媒体使ってでもさんりく基金でこういう活動をやって、こういう成果がありますという情報発信を検討して、行動に移して欲しい。

【青山理事】

沿岸で民間のグループが活動しているが、間接的にさんりく基金がきいているな、入ってきているなと思うことも多い。ここ数年の事業で全く新しい事業というのはあるか。継続が重要な事業も多いが、新しい視点も必要。民間の方が何か新しいことをやろうとするときに、中核であるさんりく基金が元気がいいと周りに波及していく。さんりく基金が守りに入っていると、どうするか、動かないかみたいな感じがあるのではないかと感じていて、さんりく基金として毎年度新しい動き、受け手の方がワクワクするような話題が一つずつでも出ていくともっと機運の底上げにつながるのでは。予算の関係等で難しいのは重々承知なので、そのあたりは事務局の方で何かアイデアがあれば。

【森企画総務部長】

昨年度から、みちのく潮風トレイルの海外の方向けのアンケート調査を実施したり、ここ数年DMOの取組強化したり、助成事業の仕組みとしては変わってないが、助成事業も毎年新しい案件が出てきているところである。

先ほど代表理事がおっしゃったとおり、それを情報発信していくことを強化していければと思っている。

議長が、他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第1号議案及び第2号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第3号議案「令和7年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について」

議長は、第3号議案について事務局に説明を求め、森企画総務部長が説明した。

議長が、第3号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第3号議案の

賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

①開催日時 令和7年6月11日（水）午前10時半から

②開催場所 トーサイクラシックホール岩手第1会議室及びWeb会議システム

③議事に付すべき事項

- ・令和6年度事業報告及び附属明細書の承認
- ・令和6年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認
- ・任期満了に伴う理事の選任について

その他

「県出資等法人運営評価シートについて」

議長はその他事項について説明を求め、森企画総務部長が説明した。

議長が、質問、意見を求めたが、特に発言はなくその他を終了した。

以上をもって議事の全部の審議及び報告等を終了したので、議長は午後2時35分閉会を宣し、解散した。